

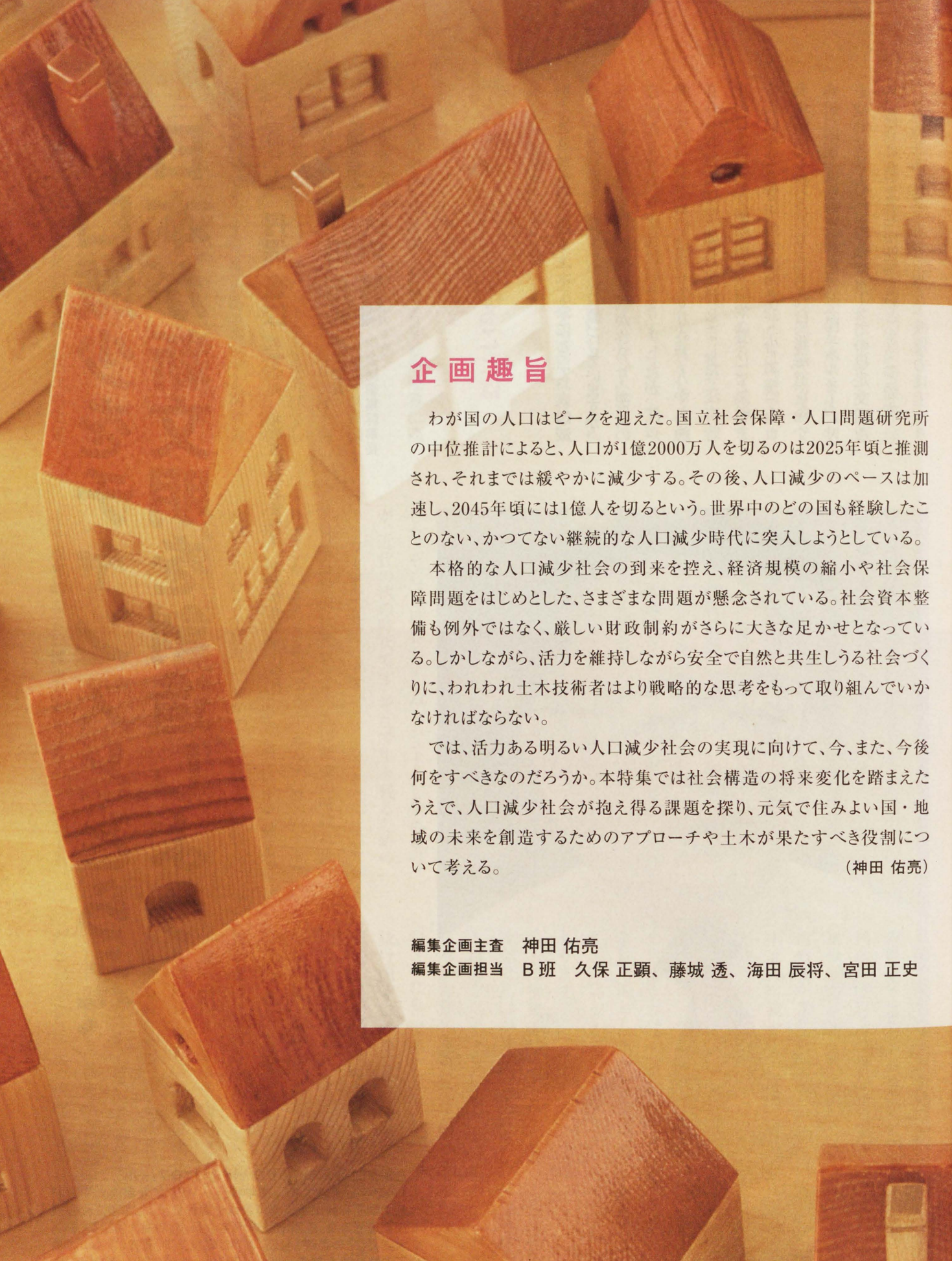
The background of the entire page is a close-up photograph of numerous wooden toy houses. These houses are made of light-colored wood with reddish-brown roofs. They are arranged in a dense, overlapping manner, creating a sense of a miniature town. The lighting is warm, highlighting the natural grain of the wood.

特集

人口減少時代の

国づくり・

まちづくり



企画趣旨

わが国の人口はピークを迎えた。国立社会保障・人口問題研究所の中位推計によると、人口が1億2000万人を切るのは2025年頃と推測され、それまでは緩やかに減少する。その後、人口減少のペースは加速し、2045年頃には1億人を切るという。世界中のどの国も経験したことのない、かつてない継続的な人口減少時代に突入しようとしている。

本格的な人口減少社会の到来を控え、経済規模の縮小や社会保障問題をはじめとした、さまざまな問題が懸念されている。社会資本整備も例外ではなく、厳しい財政制約がさらに大きな足かせとなっている。しかしながら、活力を維持しながら安全で自然と共生しうる社会づくりに、われわれ土木技術者はより戦略的な思考をもって取り組んでいかなければならない。

では、活力ある明るい人口減少社会の実現に向けて、今、また、今後何をすべきなのだろうか。本特集では社会構造の将来変化を踏まえたうえで、人口減少社会が抱え得る課題を探り、元気で住みよい国・地域の未来を創造するためのアプローチや土木が果たすべき役割について考える。

(神田 佑亮)

編集企画主査 神田 佑亮

編集企画担当 B班 久保 正顕、藤城 透、海田 辰将、宮田 正史